

AIが大学合格判定を最適化

國學院大學と産学連携で国内初の入試ビッグデータ共同研究

株式会社インテージテクノスフィア（本社：東京都西東京市、代表取締役社長：須川 壮己、以下 インテージテクノスフィア）と学校法人國學院大學（東京都渋谷区、学長：赤井益久、以下 國學院大學）は、AI（機械学習）を用いて大学入試に関するビッグデータを分析し、合格判定を最適化するための共同研究を行いました。これは、産学連携による国内初の取り組みです。

この共同研究では、インテージテクノスフィアが大学入試に関連するデータと合格判定のプロセスを國學院大學と共有。独自のデータハンドリング技術や統計・解析ノウハウに加え、資本業務提携している株式会社クロスコンパス・インテリジェンスの協力を得て分析し、合格判定最適化のためのソリューションを開発しました。

合格判定最適化ソリューションは入学の可能性が高い受験者を判定し、合格点ごとの入学者数や入学者歩留率を推定することで、入学定員枠に最適な合格ラインを決定します。私立大学の合格判定基準の設定は入学定員管理の厳格化や入試制度の多様化などにより、今後ますます難しくなります。

この画期的なソリューションにより私立大学は、入学者の定員超過や定員割れの対策が迅速に立てられるほか、それらに伴う財政的な課題の解決や長期的な経営の安定化にもつなげることが期待できます。

インテージテクノスフィアは今後、合格判定最適化ソリューションに付随するサービスを展開し、大学に関するビッグデータの収集・活用を進め、大学経営課題の解決を支援していきます。

なお、この合格判定最適化ソリューションは第5回ビッグデータ活用展（10月26～28日開催）で詳しく紹介します。

【報道関係のお問い合わせ先】

■株式会社インテージテクノスフィア 経営企画部 広報担当 渡邊

TEL：042-423-1156 / Eメール：pr-itsp@intage.co.jp

【本件に関するお問い合わせ先】

■株式会社インテージテクノスフィア 営業企画室 担当 土井

TEL：03-5294-9296 / Eメール：itsp-inc@intage.co.jp